

今月のおすすめ図書

毎週土曜日は新刊本の入荷日です



～児童書～



『物語 たくさんのお月さま』
作：ジェームズ・サーバー
絵：ルイス・スロポドキン
訳：なかかわ ちひろ
発行：徳間書店

～児童書～



『このほん よんでくれ!』
文：ベネディクト・カルボネリ
絵：ミカエル・ドゥリュリュ
訳：ほむら ひろし
発行：クレヨンハウス

～一般書籍～



『龍の袖』
著者：藤原 緋沙子
発行：徳間書店

～一般書籍～



『21匹のネコがさっくり教えるアート史』
著者：ニア・グールド
訳者：上杉 隼人
発行：すばる舎リネージュ

『続々ざんねんないきもの事典』
監修者：今泉 忠明
発行：高橋書店

読んだ感想
みんな違うから、みんな
ないと思わせる本です。
心が優しくなれます。



紙屋中3年 立神 香成さん

私のおすすめ!

9月の休館と開館時間

【本館】 1日と毎週月曜は休館
◆開館時間：9時～19時
※日曜と祝日は17時まで
【須木分館・野尻分館】 1日と毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間
須木：9時～17時
野尻：10時～18時30分 ※日曜は17時まで

姉妹都市交流事業



7月26日(金曜)から28日(日曜)までの2泊3日で、市内中学生15人が石川県能登町を訪問し、中学生同士で交流を行いました。能登町とは平成7年に野尻町が姉妹都市提携を結び、現在まで1年ごとにお互いの町を訪問し交流を行っています。

今回の交流では、能登町の伝統芸能に触れたり、スノーケリング体験をしたりと小林市ではできない貴重な体験を行うと共に、能登町の生徒との親睦を深めることができました。

参加者からは「大人になったら、能登に行きたい」、「宮崎や鹿児島にはいない魚をたくさん見ることができた」と言う声があり、能登町の魅力を発見できたようです。また、「私は小林のことが大好きだと思った」、「別の場所でも小林の魅力を自分の口で伝えていきたい」など、小林市の魅力も再発見することができたようです。年に1度きりの交流事業ですが、これからも小林市と能登町の親睦を深めていければと思います。



両市町の交流事業参加者



スノーケリング体験



バーベキュー交流会

グローバルキッズ

◆航空コース

8月1日に宮崎ブーゲンビリア空港で「空のお仕事」について学びました。昨年から開催のこのコース、今年もたくさんの応募があり、小・中学生とその保護者36人が参加。パイロット、キャビンアテンダント、グランドスタッフ、整備士、グランドハンドリングの5班に分かれ仕事を体験しました。その後は、機体や普段見ることのできない空港の内部を見学。参加者は講師から話を聞き、将来の夢を考えるきっかけとなりました。



◆霧島小林探検隊

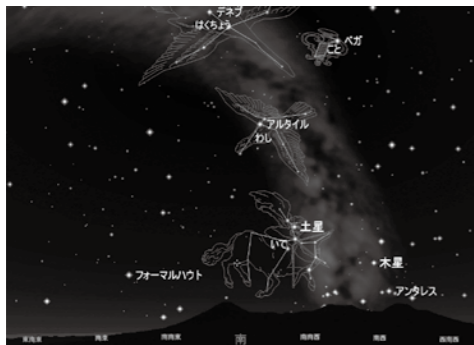
8月8日に、須木小野湖で第1回霧島小林探検隊を開催しました。今回は霧島おむすび自然学校の壹岐さんの指導のもと、カヤック体験を実施。初めて挑戦する人、何回も体験している人それぞれでしたが、終了間際にはみんな上手にカヤックに乗っていました。また、岩場からの飛び込みにも挑戦するなど水辺での体験を満喫している様子で、夏の良い思い出になったと思います。今後も、自然の中でのさまざまな体験を予定しています。



天空の羅針盤



9月の天文台イベント



9月28日20時頃の南天

日没が早くなる月。満月の前日13日が中秋の名月。28日は当館の星のソムリエ記念日。天文にまつわるお話や、楽器の生演奏や弾語り。そして天体望遠鏡で星空をお楽しみください。30日からは10月20日まで昼間の星をお見せします。詳細はホームページをご覧ください。【お知らせ】上記以外の観望会は毎週土・日の20時～、21時～。休館日は2(月)～5(木)と毎週火曜

文化の足跡



ふるさとに残る元号⑤

田の神さあの生まれた時代「享保」

「享保」は、江戸時代8代将軍徳川吉宗が「享保の改革」と称しさまざまな取組みを行なった時代です。その一つとして農政の安定化を図るため治水事業や新田開発が全国で実施されました。薩摩藩でも積極的に新田開発が行われ、その記念と五穀豊穡への願いを込めて、田の神さあを造り祀ったとされています。またこの地域では享保元～二年に新燃岳が大噴火を起こして大被害をもたらしたことから、山の神の怒りを鎮める願いを込めて造られたとも言われています。そんな激動の「享保」時代に造られた田の神は、市内に宮崎県で一番古い田の神の「新田場の田の神」(享保5年造)をはじめ9体残されています。

